

＜ 広 報 の 学 校 ＞

PC、スマホで繰り返しいつでも視聴できる アーカイブ受講セミナー「入門危機管理広報講座」のご案内

— 視聴期間 3月1日(木)～3月31日(土) —

広 報 の 学 校
(共同PR株式会社)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

広報分野の専門教育機関『広報の学校』では、遠方の方や多忙な方を対象に、会場に行かずにいつでも自由に繰り返し視聴できるアーカイブ受講セミナー「入門危機管理広報講座」を3月(1ヶ月間)に開催いたします。

日本では最近も過労死問題、コンプライアンス問題(データ偽装、不正会計)、個人情報漏洩、リコール、異物混入、続発する事故と重大リスクが多発し、ますます危機管理の重大さが身にしみて感じる日々が続いています。一方で『フェイスブック』、『ツイッター』、『ユーチューブ』といったソーシャルメディアが危機管理に大きな影響を与えるようになりました。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、危機に直面するケースが急激に増加しています。しかも、企業が危機管理(メディア対応)で失敗し、重大なダメージを被る事例も相次いでいます。

危機管理に対する関心が急激に高まり、危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション(危機管理広報)がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうか
具体的に緊急時のメディア対応はどうか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを修得する、危機管理面の対応能力向上のための専門研修講座です。また、希望者にはメールでの質問ができる双方向のアーカイブセミナーです。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

アーカイブ受講セミナー「入門危機管理広報講座」実施概要

■ 概 要

・配信は、インターネットアーカイブ映像となります。

下記期間、アーカイブを1ヶ月間、いつでも自由に何度でも視聴することができます。

アーカイブ視聴期間:2018年3月1日(木)～3月31日(土)

・資料(PDF)は、ダウンロード可能です。(事前にプリントアウトしてご視聴ください)

・1IDで1ユーザーのみ視聴が可能です。(事前承諾のないグループ視聴は禁止です)

グループで視聴されたい場合は、必ずご連絡ください。

・お申込みの前にインターネット環境をお確かめください。

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。

以下のサンプル動画が閲覧できるか、事前にご確認の上、お申し込みください。

■テスト視聴サイト

<https://deliveru.jp/pretest5/>

ID livetest55

PW livetest55

※視聴して「閲覧できません」旨ご連絡をいただいても、応じかねますので必ず事前にご確認ください。

■推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオの配信プラットフォーム「Deliveru」を利用しています。

推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 <https://deliveru.jp/faq/#Q7>

◎よくあるご質問 <https://deliveru.jp/faq/>

■対象者: 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者

■本講座特色:

1. 具体的な事例研究と実践的対策
2. ソーシャルメディアリスク対応ノウハウの修得
3. 最近の企業不祥事の傾向(トレンド)と今後の方向性
4. 危機管理の基本(基礎)から具体的なクライシスコミュニケーション
(危機管理広報=メディア対応)の実務知識、スキルの修得
5. 簡易演習(受講者参加型の実践的研修)の実施

■質問受付: メールでの本講座内容に関する質問が可能です。講師または当社専門スタッフが
お答えします。

■講座概要: 詳細はカリキュラムをご覧ください。

■視聴期間: 2018年3月1日(木)~3月31日(土)

■講師: 篠崎 良一

PR 総研 所長、広報の学校 学校長(共同 PR 株式会社)

■受講料: 3万5千円(消費税、資料代含む)

■申し込み: 受講申込書にご記入の上、FAX でお申し込みください。

■FAX 送信先: 0120-653-545 アーカイブ受講セミナー「入門危機管理広報講座」係

■締め切り: **2月23日(金)**

■受講料支払方法: 下記の口座にお振込み下さい。

三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 共同ピーアール株式会社
普通口座 0656224

■広報の学校

2003年に広報パーソンの育成・教育専門校として開校。広報の基礎から実務知識まで、理論と実習、演習を効果的に組み合わせたカリキュラムで学ぶ各講座を専門家が徹底指導。受講者は3000名を超える。

※請求書が必要な方は申込書にご記入ください。

※受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。

共同PR株式会社 広報の学校 事務局 篠崎、大八木

TEL: 03-3571-5179

FAX: 0120-653-545

e-mail: kohonogakkou@kyodo-pr.co.jp

<https://www.kyodo-pr.co.jp/school/>

＜入門危機管理広報講座カリキュラム＞

時 間	講義テーマ	内 容
講座 1 (120分)	事例研究 (杭打ちデータ改ざん) (廃棄食品横流し) ソーシャルメディアリスク 事例研究とリスク対応	経緯／関与企業の会見・広報スタンス比較／緊急記者会見分析／広報対応の問題点 経緯／ステークホルダーの評価／成功の要因／リリース炎上テーマ／炎上に至るパターン／拡大パターン／必要な要素／事例研究（過労死問題コメント炎上）／影響のパロメーター／リスク対応プロセス／対応のポイント／炎上の企業リスク／未然防止策／炎上対策／電凸対応
演習 (60分)	＜演習＞ 簡易シミュレーション	各自でリスクシナリオを読んで（キーメッセージ／Q & A／ステートメント）を作成
講座 2 (90分)	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド／危機管理の目的／リスクとクライシス／4つのリスク対応／リスク評価／危機管理広報とブランド回復プロセス／なぜ失敗するのか／平常時広報と危機管理広報の違い／プロセス／5つのダメージ／企業批判の三分野／危機管理の基本
講座 3 (120分)	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務／マスコミの企業不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の意味と基本原則／記者会見対応のポイント／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q & A作成のポイント

講師プロフィール 篠崎 良一

PR総研所長(広報の学校 学校長)、広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同ピーアール(株)入社。取締役副社長を経て現職。

2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。

企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概論』(共著、同友館)、『広報・PR実務』(監修、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。(社)日本PR協会認定『PRプランナー』試験委員。

FAX:0120-653-545

アーカイブ受講セミナー 「入門危機管理広報講座」申込書

視聴期間：2018年 3月1日（木）～3月31日（土）

申込日：2018年 月 日

貴社名		部署・ 役職名	
御名前		電話	
御住所	〒	FAX	
		e-mail	
請求書	要（ ） 不要（ ）		
請求書送付先	※上記と異なる場合のみ、ご記入ください。		
《通信欄》			

■お申込みはFAXでお願いいたします。

FAX:0120-653-545 アーカイブ受講セミナー 「入門危機管理広報講座」係

■受講要領(案内)を参加者様宛てにメールでお送りいたします。

■受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。